

9月定例会	
9月定例会	2
決算特別委員会	4
分科会報告	6
特集 森のようちえん	8
一般質問	10
請願	15
ときわ大根プロジェクト2023	16



地域に元気・笑顔・感謝を届けます! ときわ大根プロジェクト2023

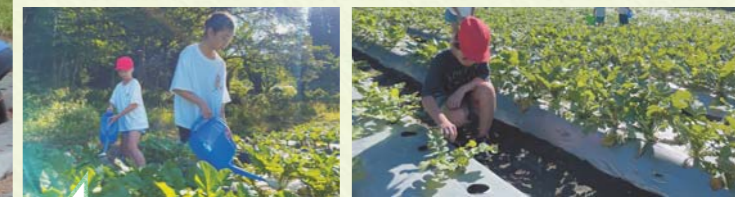
常盤小学校では、3～6年生児童が地域に元気・笑顔・感謝を届けるために「ときわ大根」の栽培・販売活動をしています。統合前に鶴子小学校で行っていた活動を引継ぎ、今年度で4年目となりました。年々「ときわ大根」ファンも増え、大人気の「ときわ大根」です。

【2023活動の足跡】

大根の先生の小林幸吉さん(六沢)や常盤・鶴子地区の老人クラブの皆様、保護者の方の力強いサポートがあって活動することができています。ありがとうございます。



8月8日(火) ときわ農園に約6,000粒の種をまきました。品種は、暑さに強い「夏つかさ」と真っすぐに育つ「秋の砦」の2種類です。

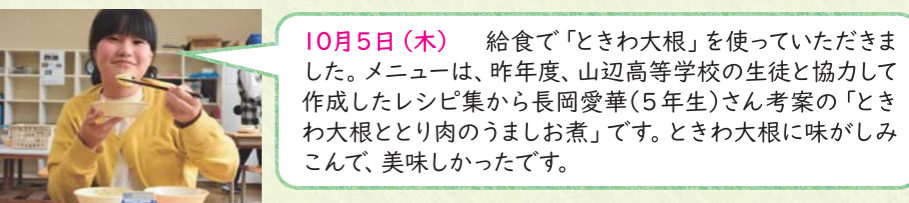


8月中旬～下旬 今年の夏は暑い日が続き、芽が出ない大根もありました。欠かさず、水かけや草取りをしました。発芽したら、大きく育つように間引きをしました。

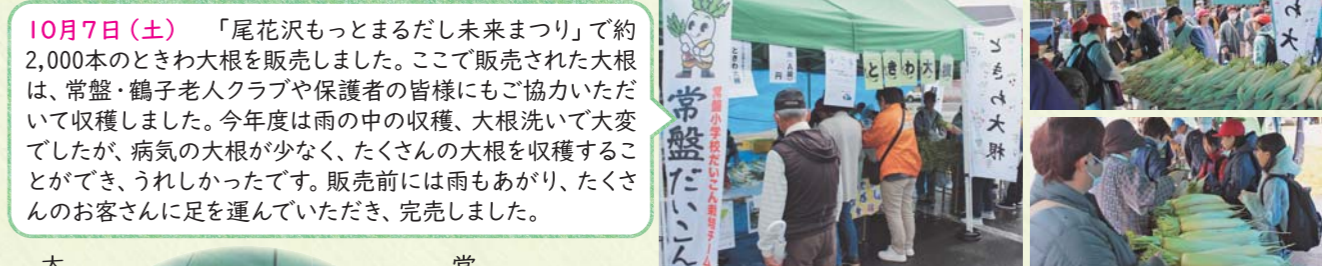
9月29日(金) 暑い夏を経て、大きく成長したときわ大根の試し取り。真っすぐで、美味しそうな大根が収穫できてほっとしました。



10月4日(水) 常盤地区公民館前と旧鶴子小学校前で地域販売をしました。いつもお世話になっている地域の方に感謝の気持ちを届けようと、朝から自分たちで約300本の大根を収穫し、きれいに洗い、販売の準備をしました。



10月5日(木) 給食で「ときわ大根」を使っていたきました。メニューは、昨年度、山辺高等学校の生徒と協力して作成したレシピ集から長岡愛華(5年生)さん考案の「ときわ大根とり肉のうまお煮」です。ときわ大根に味がしみこんで、美味しかったです。



10月7日(土) 「尾花沢もっとまるだし未来まつり」で約2,000本のときわ大根を販売しました。ここで販売された大根は、常盤・鶴子老人クラブや保護者の皆様にもご協力いただいて収穫しました。今年度は雨の中の収穫、大根洗いで大変でしたが、病気の大根が少なく、たくさんの大根を収穫することができ、うれしかったです。販売前には雨もあがり、たくさんのお客さんに足を運んでいただき、完売しました。

発行/山形県尾花沢市議会 編集/市議会だより編集委員会



大根プロジェクト主任
須藤 早紀

常盤小学校校長
柏倉 常彦

常盤・鶴子地区での地域販売や「尾花沢もっとまるだし未来まつり」では、「今年も楽しみにしていたよ。」「子どもたち頑張っているね。」と温かいお言葉をたくさんいただきました。子どもたちの元気や笑顔が地域を活性化させることを実感します。今後も持続可能な形でときわ大根栽培・販売活動を継続してまいりますので、楽しみにしてください。ありがとうございました。

発行責任者

議長 菅野 修一

市議会だより編集委員

委員長 土屋 範晃

副委員長 畑中 和恵

委員 伊藤 清浩

委員 鈴木 哲

委員 和田 昌己

委員 菅藤 隆雄

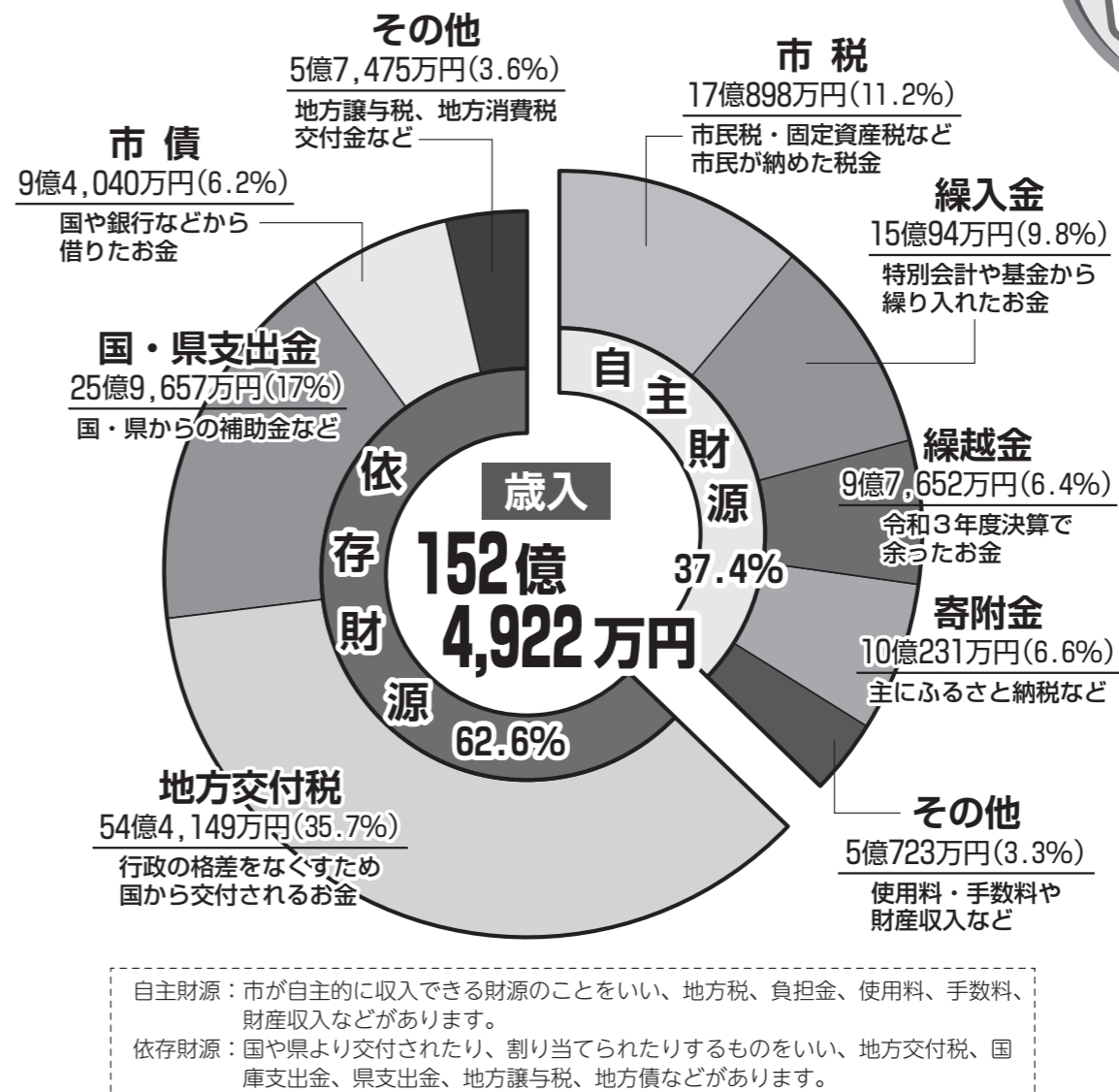
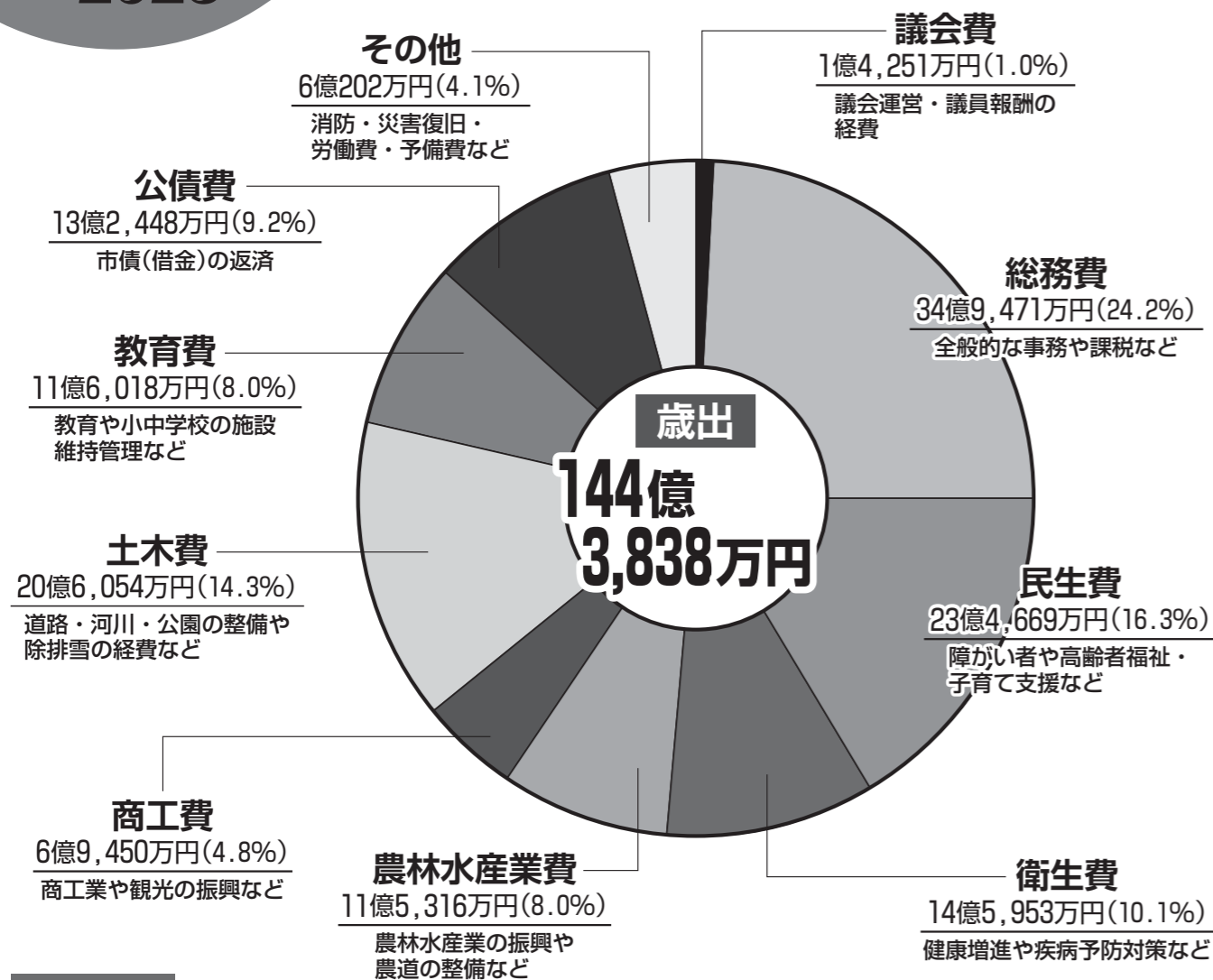
委員 高橋 隆雄

あとがき

議会だより編集委員会が新体制となり、119号の発行に向けて、各委員が気合を入れて編集作業を行いました。今回は常盤小学校とツリーハウスの2つを特集しました。地域の資源を活用した本市ならではの体験によって、尾花沢市を大好きになる人が増えることを願っております。今後も「分かりやすく読みたくなる議会だより」を目指して一層努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願致します。

(土屋 範晃)

令和4年度 決算 財政健全化へ前進!



定例会のあらまし

9月定例会は9月5日から9月25日まで21日間開かれ、令和4年度決算の審議が行われた。

また、令和5年度補正予算8件、条例の制定および設定4件を可決した。人事案件(教育委員会委員)1件が同意され、また選挙管理委員4名と補充員4名を選任した。請願1件については賛成多数によって採択した。

会期日程

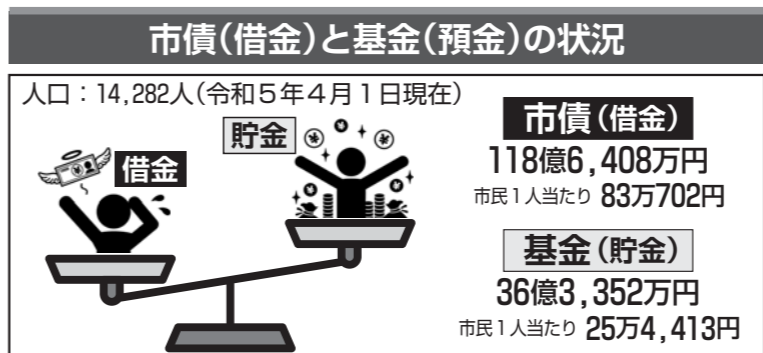
9月5日	本会議開会
6日	総務文教常任委員会
7日	産業厚生常任委員会
11日	本会議 (一般質問)
12日	本会議 (一般質問) 決算特別委員会の設置など
13日	総括質疑
14日	総括質疑 決算特別委員会 (分科会)
15日	決算特別委員会 (分科会)
19日	決算特別委員会 (分科会)
22日	本会議 決算特別委員会 (各分科会委員長報告)
25日	本会議閉会

区分	市債現在高	指数 (%)
平成29年度末	114億5,266万円	100.0%
平成30年度末	126億0,160万円	110.0%
令和元年度末	128億4,983万円	112.2%
令和2年度末	125億2,826万円	109.4%
令和3年度末	122億2,068万円	106.7%
令和4年度末	118億6,408万円	103.6%

※指数は、平成29年度末の現在高を100とした割合です。

市債：多額の予算が必要な場合に、市が、政府・地方公共団体金融機構・銀行などから調達する長期的な借入金を「市債」といいます。

一般会計	144億3,838万円	国営村山北部土地改良事業特別会計	112万円
国民健康保険特別会計事業勘定	20億4,064万円	農業集落排水事業特別会計	8,763万円
国民健康保険特別会計(中央診療所施設勘定)	3億6,989万円	介護保険特別会計	19億9,346万円
簡易水道特別会計	2億4,869万円	後期高齢者医療保険特別会計	2億2,162万円



年度	一般会計歳出決算額
平成30年度	130億1,000万円
令和元年度	119億6,800万円
令和2年度	149億7,800万円
令和3年度	135億4,400万円
令和4年度	135億4,500万円

令和4年度 一般会計・特別会計をチェック

総括質疑 12名

予算は有効に使われたか!!

住宅リフォーム支援事業

(土屋範晃)

Q 住宅リフォーム支援事業費補助金の目的の一つである「経済の活性化」について、令和4年度の実績と取り組みをどう評価するか。
A 交付22件の内、市内業者が施工した工事が19件であり、補助対象工事費は約2億8千万円であった。市内経済の活性化という点でも十分役割を果たすことができたと考ええる。

「防災ラジオ」導入

(伊藤 浩)

Q 現在、個人に貸与している205台の戸別受信機と同等の機能を持たせる事ができる「防災ラジオ」の導入を検討してはどうか。
A 「防災ラジオ」は災害予報など避難時にも活用できる利便性があり、県内でも導入している自治体がある。FM局を開設する必要があるので、今後調査研究をしていきたい。

病児病後児保育事業

(青野隆二)

Q 令和4年度の年間利用者は2人で、事業費は42万4千円となっている。この際、山形連携中枢都市圏の連携事業に移行すべきと考えるがいかがか。
A 市民の要望で設立した。市内にあること



の安心感もあるが、第3期子育て支援事業計画の中で、十分検証し検討をしていきたい。

小中学校読書力向上推進事業

(鈴木 清)

Q 小・中学校に2名ずつ読書力向上推進員を配置しているが、どのような効果ができているか。
A 学力調査からも、読書好きな子が増えている。令和5年度「子供の読書活動優秀実践校」として尾花沢小学校が、文部科学大臣表彰を受けた。



ワークライフバランス

(菅藤昌己)

Q ワークライフバランス奨励金の支給条件と実績は。
A 仕事と生活の調和をはかり、男性の育児や女性管理者登用など実績に基づき1社に助成をした。
Q ほたるの里郷土資料館の運営状況は。
A 民具や農具などを中心に展示しているが、年々市民からの寄贈も増えている。ホームページに掲載活用し、学校の授業などにも活用していきたい。



基幹集落センター指定避難所機能強化工事

(畑中和恵)

Q 尾花沢市基幹集落センター指定避難所強化工事がなされたが、階段は以前同様で傾斜もある。車椅子や高齢者が安全に避難できるよう改善が必要では。
A 既存の施設の改修工事なので、建築基準法の兼ね合いもあり階段の工事までは難しかった。今の構造を活かしたソフト面からの観点で、車椅子の方も利用しやすいよう改善する。



地域おこし協力隊

(高橋隆雄)

Q 地域おこし協力隊受け入れ事業としての成果はどうか。また、今後どのように募集し定住を促進するか。
A 定住関係人口としては一定の成果があった。今後どのような活動が可能か、各課と連携しながら、各種募集サイトなどで、新たな隊員を募集していく。

荒楯地区分譲住宅 定住支援事業

(安井一義)

Q 分譲予定の10区画すべてが完売となったのか。また購入後の要望事項などの聞き取りはしているか。
A 令和4年度で完売となった。売買契約時は購入者から特に要望は無かったが、建設後

防災行政無線整備事業

(菅野喜昭)



Q 設置件数38件の地区内訳は。また、これまでの市内の設置状況は。
A 令和4年度の38件の内訳は、本町地区3件、福原地区5件、宮沢地区12件、玉野地区10件、常盤地区8件である。これまでの設置状況は、本町地区69件、福原地区39件、宮沢地



防災行政無線の設置状況

区37件、玉野地区29件、常盤地区31件、合計205件である。この205件には、自主防衛会長分74件及び消防団幹部分が13件、計87件含まれている。

原田送水場

(和田 哲)

Q 簡易水道の原田送水場に予備取水ポンプを購入したことで、断水リスクは大幅に軽減されると考える。復旧までの見込み所要時間はどの程度を見込んでいるか。



6次産業化総合支援事業費補助金

(星川 蕙)

Q すいかバームクーヘンは地元で製造されていないとのことだが、地元で製造するように後押しすべきでないか。
A 令和4年1月に発生した取水ポンプ故障による断水は、5日間続いた。原田送水場内に予備を保管しておくことにより、復旧の目途は半日程度となる見込みだ。さらに、経験を踏まえて断水の事前抑止にも努めていく。

シルバー人材 運営補助金

(大類好彦)

Q シルバー人材運営補助金について、引越し・駐車場の除雪などで70万円の追加補正をした。当初予算から70万円を増額すると国県から同額の助成が得られ140万円になる。当初予算に入れてはどうか。
A シルバー人材の運営状況について、様々な面で苦労していることは承知している。当初から増額した金額で予算組をしていきたい。

議長 菅野 修一
決算特別委員長 鈴木由美子
2名は役職の立場上質疑はできません。

第1分科会

税金・財政
くらし・教育
防災・消防など

9月14日～19日
(市役所会議室)

委員の紹介

委員長 安井 一義
副委員長 青野 隆一
菅野 修一
星川 薫
和田 哲
畑中 和恵
土屋 範晃

消防本部
消防団機能の強化

IP無線機の配備状況について詳細な説明を受け、災害発生時にその機能が最大限に活用されるよう、消防団とのさらなる連携を要望。



総合政策課
徳良湖周辺の桜管理

地域開発費として使われた、徳良湖周辺管理業務委託料について、今後は、樹木の効率的な管理を図るため担当課の一元化を要望。

防災危機管理課
多様な防災対策

空き家等対策協議会、特定空き家等に対する措置、地域防災計画の改定と市民への周知などの多様な取り組みを了承。

財政課
基金・繰入・計画

公共施設整備等基金繰入金の状況を確認し、今後の大型事業に向けて基金の積み増し

総務課
職員数の減少

を要望。併せて、空き公共施設の計画的な解体が達成できる財政運営を要望。

市民税務課
路線バスでの通院

職員数が減少していることの要因について分析することにも、今後は、技術系職員の採用を検討されるよう要望。

公立病院線運行維持負担金の詳細について説明を受け、市民が利用しやすいバス運行となるよう、直営運行を含めた検討を要望。



定住応援課
ふるさと納税

ふるさと尾花沢応援基金事業費の詳細について説明を受け、今後は、企業版ふるさと納税の寄附拡大に向けた取り組みを要望。

こども教育課
学校給食

学校給食に係る費用について詳細な説明を受け、市内業者による地元産食材を増やし、子どもたちの郷土愛と、さらに満足度の高い学校給食となるよう要望。



社会教育課
地域の活性化

基礎交付金事業とチャレンジ事業の交付状況について説明を受け、交付率の見直しを要望。

実績を踏まえた事業内容の見直しを要望。



特別会計
中央診療所

歳入・歳出ともに詳細な説明を受け、市内唯一の公的医療機関として良質かつ安定的な医療を提供するため、経営の改善及び医療人材の確保に努められるよう要望。



決算を徹底審査

第2分科会

福祉・農業
産業・道路
保健・医療など

9月14日～19日
(市役所会議室)

委員の紹介

委員長 大類 好彦
副委員長 伊藤 浩
鈴木 清
菅野 喜昭
鈴木由美子
菅藤 昌己
高橋 隆雄

福祉課
民生委員児童委員

活動費交付金について説明を受け、民生委員に求められる役割が大きくなっている現状を踏まえ、地域と連携した欠員の解消に向けた取り組みを要望。



委員の手帳やテキスト

健康増進課
高齢者の予防接種

高齢者肺炎球菌の予防接種

委託料について詳細な説明を受け、今後とも接種率の向上に努められるよう、周知方法の工夫などを要望。



肺炎球菌の手続き書類

農林課
多面的機能支払制度

交付状況について説明を受け、資源向上・長寿命化に関



商工観光課
福原工業団地の分譲

して満額交付されていない現状を踏まえ、組織の事業計画に影響が出ないよう要望。

企業立地促進奨励金について説明を受け、企業に寄り添ったアドバイスや支援に引き続き取り組まれるよう要望。

建設課
不良住宅除却促進事業

多くの希望者に給付がなされるよう制度の見直しを要望。

環境エネルギー課
食品放射能測定

モニター交換調整業務委託料について詳細な説明を受け、

森のようちえん実行委員会(大山真吾会長)の取組の一環で、東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科の1~3年生の有志の学生22名が基幹集落センターに約1週間滞在して制作して下さいました。今後はツリーハウスを森のようちえんの一つのシンボルとして、様々な活動を行う予定です。



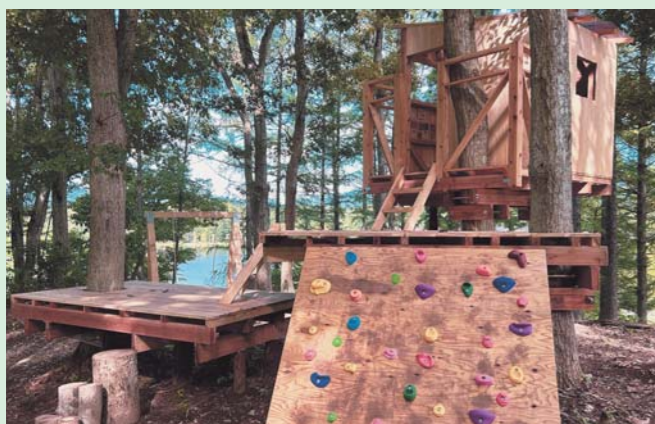
▼親子が参加したワークショップの様子。



▲端材に参加者が絵を描き、壁に貼付けた。

▼森のようちえんに参加した市内の園児たち。

▼ツリーハウスの全景



▲みんなでボルダリングに挑戦!



▲「ぼくたちのツリーハウスだ!!」

特集 徳良湖キャンプ場に芸工大生による 森のようちえん ツリーハウスが完成!

2023/9/10



みんな遊びに来てね

Q&A

リーダーを務めた
3年生：上田健斗さんに
インタビュー

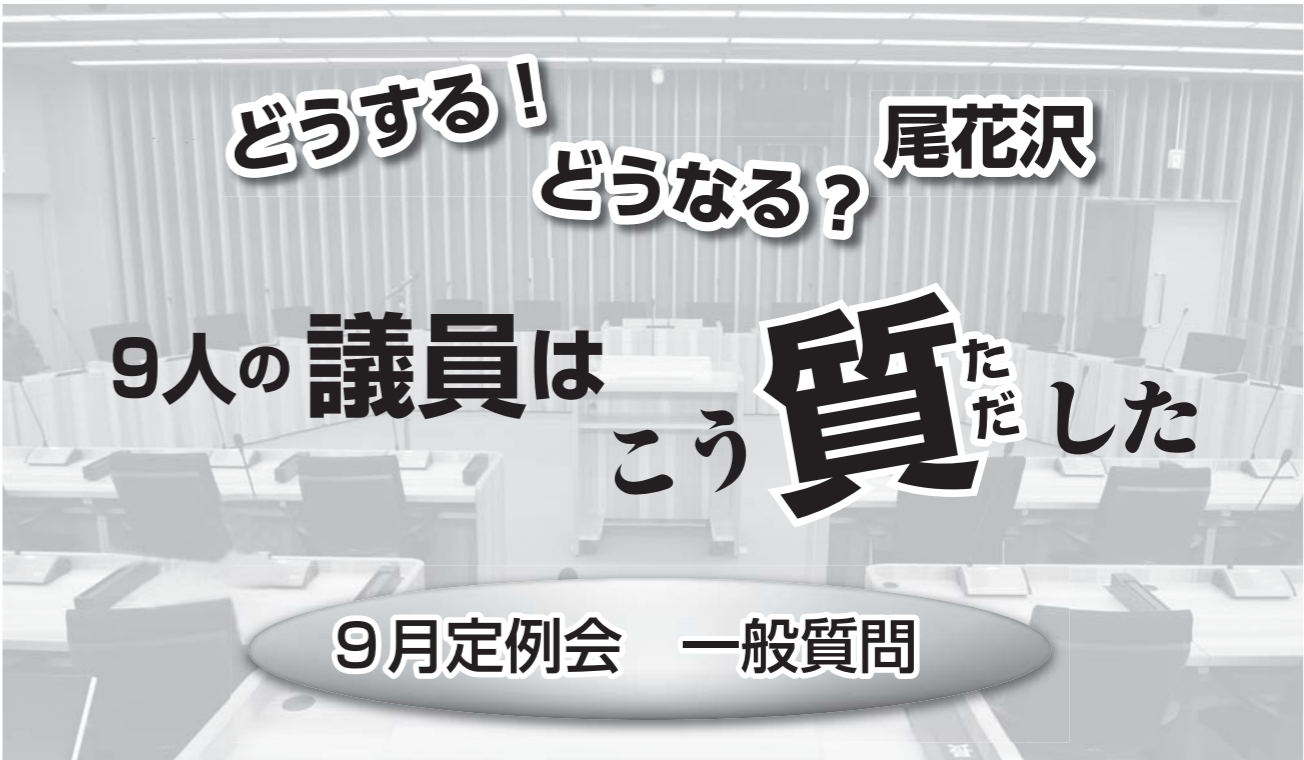
普段はどんな勉強をしていますか?
建物だけではなく、まちづくりや環境に関する勉強もしています。

一週間滞在していかがでしたか?
自然がいっぱいで、いい環境で作業できました。定食屋さんも行くところ全て美味しかったです。

大変だったことや気を付けたことは?
全部大変でした。安全面に配慮し、水平をとることに気を付けて、時間をかけました。

どのように活用してほしいですか?
しっかりと作ったので、景色を楽しみながら子供たちだけでなく、大人の方も遊んで欲しいです。

ツリーハウスに点数をつけるなら?
完成度もみんなで作ったことも含めて、100点満点中、300点です!



○囲み数字が掲載

鈴木由美子	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域産業政策「キラリと光る産業のまち」 2 こども家庭センター 3 徳良湖周辺施設整備事業 4 帯状疱疹ワクチン接種に対する助成 5 防災危機管理課の役割とは 6 生活道路補助金と軒下舗装
土屋範晃	<ul style="list-style-type: none"> ① 市内企業の人材確保の支援 ② 今後の大型事業への過疎対策事業債活用を見据えた国・県・周辺自治体との連携・調整 ③ 職員の労働環境向上
伊藤浩	<ul style="list-style-type: none"> ① 畑地化促進事業の進捗状況 2 今後の財政計画
青野隆一	<ul style="list-style-type: none"> 1 市長の選挙公約 ② 県下トップの人口減少率における高齢者対策 3 じもと就職応援スタートアップ激励金 ④ 介護用品(紙おむつ等)支給事業 ⑤ スクールバス&路線バス
畑中和恵	<ul style="list-style-type: none"> ① 徳良湖周辺施設整備事業、都市公園整備 ② 徳良湖スノーランド事業 ③ 統合小学校建設事業と財政計画公表
高橋隆雄	<ul style="list-style-type: none"> ① 克雪対策の着実な整備 ② 防災 ③ 中学校における部活動の地域移行
星川薫	<ul style="list-style-type: none"> ① 「書かない窓口」の促進と来年度以降の展望 ② 尾花沢市公式ホームページ ③ ふるさと納税20億円を達成するにあたって
菅藤昌己	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本一の尾花沢めざして ② 少子高齢化対策と、不妊症対策や不妊治療などの助成 ③ 農業に関わる雇用者数と、雇用を守る周年農業の技術確立と助成
鈴木清	<ul style="list-style-type: none"> ① マイナンバーカード問題 ② 学校給食の食物アレルギー対応 3 インクルーシブ教育



鈴木 由美子 議員
すずき ゆみこ



Q 「女性が働きやすいまち」を宣言してはどうか

A まずは庁舎内から環境整備する

地域産業政策
「キラリと光る産業のまち」

問 人口減少抑制には女性の働き手の確保に力を入れた官民一体の取り組みがこれから鍵を握るのではないかと。市をあげて、将来に渡り安心して長く働けることをアピールしては。若者に選ばれる企業を目指すため、「ユースメール」「くろみん」「えるぼし」などの認定企業となるための後押しが必要ではないか。

答 情報の共有を図りながら、誰もが働きやすい企業育成に努める。

問 ビジネスや観光の拠点で欠かせないのはまちなかの宿泊施設である。旧パレットスクエア跡地の利活用に関して、他にも公園や遊具施設、高齢者集合住宅などへの期待と、整備には民間活

力の取り組みを望む意見がある事を受け、「複合施設」としての方向性の考えはないか。

答 10月から来ていただく地域の方々の意向も聞きながら進めていく。

問 今年度重点新規事業「ITエンジニアの育成」には当初予算がなかったうえ、何故取り掛からないのか。中学生にとっても大事な事業である。

答 義務教育過程において、ITエンジニア育成に必要な環境整備と学習活動の充実を図っている。今後、小学生対象の「尾花沢少年少女発明クラブ」開設の承認申請を公益社団法人発明協会に行っていく。



土屋 範晃 議員
つちや のりあき



Q 市内企業の人材確保支援は

A 市内産業を知る機会の充実を図る

市内企業の人材確保

問 平成16年度の本市の出生数170人の内、高卒で市内企業に就職した人は9人であり、約5・3%にとどまっている。市内企業の人材確保と人材の市外流出を食い止めるためにどう取り組むのか。

答 企業と地域が一体となった取り組みや小・中学校におけるキャリア教育の中で市内産業を知る機会を充実させていく。

大型事業の財源と連携

問 学校建設、ごみ処理施設、公立病院の建て替えなどの大型事業に交付税算入率の大きな過疎対策事業債を活用するため、国や県への要望、関係自治体などとの連携・調整にどのように取り組むのか。

答 令和6年度尾花沢市重要事業要望において、必要額の確保や償還期限の延長などの要望活動を実施している。関係自治体等とも連携・調整を図り、本市の財政健全化にあらゆる手段を講じていく。

職員の労働環境向上

問 職員が部署の垣根を超えて活発に業務改善の意見を提案し、労働環境向上につながる仕組みの創設が必要と考えるが、どのように取り組むのか。

答 職員が提案できる仕組みの構築は有効であると認識している。市民サービスの向上に繋げるため、これまでの事務改善提案の仕組みを見直し、新たな職員提案制度の実施を検討する。



伊藤 浩 議員

いとう ひろし

Q 畑地化促進事業の継続を訴えていくべき!!

A 手綱を緩めずに事業継続に取り組む

問 3月定例会で決議した、本件に関わる意見書について、その後市長からはどのようにフォローして頂いたのか。

答 4月に開催された県の市長会で、「畑地化促進の継続について」の議案を提出し、概要説明をした。5月の東北市長会総会において、特別決議事項として採択され、6月には関係機関に要望を行ってきた。今後とも国の動向を注視しつつ、他の市町村と情報共有を図りながら、手綱を緩めずに取り組んでいきたい。

問 2月の申し込みで、事業の内容が明確でなかった事、申し込み期間が短かった事から申し込みが出来なかった方が多くいる。また、融雪後に圃場に水を入れたが、保水能力が失われており、畑地化を希望したいという声も多い。これらを踏まえて市独自に追



加希望者の予備調査を行ってはどうか。

答 8月にこれからの「水張り計画書」を提出して頂いた際に、農家の方から畑地化事業についての問い合わせが多く寄せられた。関心度が高い事を改めて知った。現在は国の一次配分が示された段階であり、今年度の補正予算金額も明確になっていない。追加希望調査については、保留者の兼ね合いもあるので、今後の動向を見て検討したい。



畑地化の圃場

徳良湖スノーランド



問 「ここしかない、雪の遊園地」として賑わうスノーランド。平日の来場者数増、認知度向上にどう取り組むか。また、物価上昇による不安はないか。

Q 徳良湖周辺と都市公園整備の今後は

A 計画を基に順次、公園や緑地整備に取り組む

問 徳良湖への憩いの場の創出と魅力向上の計画、身近に遊べる公園、遊具の充実・更新の進捗状況を伺いたい。

答 インクルーシブな緑地を整備し、芝張り、花のレンタルなど季節や利用形態に可変性を持たせ、誰もが楽しめる広場を造る。住宅地エリアの公園整備は市民アンケートの結果を踏まえ、整備計画素案の年度内策定を目指す。



畑中和恵 議員

はたなか かず恵



答 「台湾ダイレクトセール事業」を活用し、観光コンテンツとして紹介。物価高騰においても引き続き対応し、雪を活かした周遊観光の実現と交流人口拡大を図る。

統合小学校建設事業

問 統合小学校建設後の後年度負担額を公表し、想定される生活への支障等を説明し理解を得ることが必要ではないか。また子供達への遊具の開放は可能か。

答 年度内に基本設計が完了した後、今後取り組む大規模事業も含めて毎年度見直しながら周知したい。事業の進捗状況も市民説明会や市報、ホームページなどでお知らせする。地域に開かれた学校としてセキュリティ対策を考え、より良い活用ができるよう研究する。



青野隆一 議員

あおの たかひろ

Q 国や県との強いパイプの成果は何か?

A 特別交付税が昨年を上回った

路線バスの買い替え

問 年式が古く、走行距離の長い車両が多いために、多額の修繕費がかかる。安全第一のために、10年で買い替えるなどのガイドラインを定めてはどうか。

答 路線バスは10年を経過した車両を更新検討の対象とし、車両の小型化も検討したい。スクールバスは15年を目安にし、2台の更新を計画している。

介護用品支給事業

問 近隣の市を参考に、支給用品を増やし、課税世帯にも支給すべきではないか。

答 この事業の継続と支給品目について、第9期介護保険計画策定作業の中で検討を進めたい。



高齢者支援対策

問 12年後、3人に1人が75才以上となる。職員が全世帯を訪問する『来てくれる市役所』に変わるべきではないか。

答 医療、介護、予防、生活支援、住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりに取り組む。今秋から移動市役所を開始する。

問 廃校となる小学校を、地域の誰もが生活できる多目的高齢者施設として活用してはどうか。

答 地域における需要がどれ位あるのか把握し、民間企業とのマッチングも含めて考えたい。



高橋隆雄 議員

たかはし たかお

Q 克雪対策はどう進んでいるのか

A 研究を継続、水量は現状保持

問 流雪溝の水量の確保はどのように進んでいるのか。

答 現在許可されている取水量の保持が重要であるが、国や県に重要事業要望としてさらに取り組みを進めていく。

問 産学官民による研究はどのように進んでいるのか。

答 今後も産学官民の協同による雪の研究を継続し、より快適な雪国の生活環境を提案していく。

防災について

問 戸別受信機を全世帯に貸与することは検討していないか。

答 導入経費が多額となるため、防災アプリを導入し発信する取り組みを行っていく。操作については説明会を開催し多くの方に利用していただけるよう努める。

部活動の地域移行と熱中症について

問 行政としてどのような支援を行っているのか。

答 協議会での話し合いを通じて、尾花沢市の実態に合った持続可能な体制づくりに努めていく。

問 熱中症対策はどのように考えているのか。

答 WBG T数値を活用した対応を実施し、安心・安全を最優先させた教育活動制限について確認していく。



問 災害において初動体制はどう計画されているか。

答 発生時の迅速かつ円滑な災害時対応に向け、協定者との締結内容を再確認し、体制強化に努める。



星川 薫 議員
ほしかわ かおる



Q ふるさと納税20億円を達成するには

A 農産物のブランド力の更なる向上を図る

書かない窓口の推進

問 来年度に向けた申請の拡大は。

答 今年度中に各部門で行った政手続きの洗い出しを行う予定。



窓口のタブレット

尾花沢市公式ホームページ

問 市の何をアピールし、少子化対策や人口減少対策、観光、集客を図ろうとしているのか全然見えてこない状況である。

答 議員皆様からのご意見も参考にさせていただき、少子化対策や人口減少対策などの政策についてわかりやすく発信していく。正しい情報をより早く正確に伝えることを心がけ、さらに使い勝手の良いホームページの運用に努める。

問 尾花沢市の年間イベントカレンダーを作成すべきでは。

答 作成する。

ふるさと納税20億円を達成するには

問 市長任期中に20億円への寄附を達成するプロセスはできているか。

答 本市特産品の積極的なPR、返礼品に係る体制強化、ふるさと納税ポータルサイトにおける広告の強化、企業版ふるさと納税に取り組む。

問 抜本的な組織改革のため、ふるさと納税課を新設する必要はあると考えるがどうか。

答 組織体制については、市の全体の事業を進めていくうえで状況を勘案しながら全体の見直しを図っていく。



菅藤 昌己 議員
かんとう まさき



Q 少子化対策の大きな前進を!!

A 不妊治療対策を含めて制度の検討を進める

問 昨年4月から不妊治療が保険適用になったが、適用外の医療費の一部助成をどうするか。

答 不妊治療が公的医療保険の適用になっても、経済的負担を理由に治療を断念せざるを得ない状況があれば、なんらかの支援を考える必要があり、他の自治体の制度を参考に検討していきたい。

日本一の尾花沢を目指して

問 スイカの病害虫対策とスイカの皮近くまで美味しい品種改良を要望していく考えはあるか。来年芭蕉来訪35周年を記念して節目の市民俳句大会のような企画はあるか。牛については、ブランド力のさらなる強化と消費できる機会を設けてほしい。

答 スイカについては、県や種苗会社、大学との連携を図

問 農業の通年雇用数は。周年農業の現況と加温や施設への補助の考えはあるか。

答 通年雇用は110名である。近年、本市のタラの芽の評価が高い。耐雪型ハウスや加温用設備に更に支援するとともに、作物栽培技術を研鑽し周年農業の在り方を検討していく。

周年農業の確立について

問 農業の通年雇用数は。周年農業の現況と加温や施設への補助の考えはあるか。

答 通年雇用は110名である。近年、本市のタラの芽の評価が高い。耐雪型ハウスや加温用設備に更に支援するとともに、作物栽培技術を研鑽し周年農業の在り方を検討していく。



鈴木 清 議員
すずき きよし



Q 紙の健康保険証廃止には反対すべき!

A 国は充分な理解を得ながら進める方針だ

マイナンバーカード問題

問 マイナンバーカードをめぐるトラブルが後をたたく、混乱と不安が深まっているが、本市でトラブルと自主返納はあるか。

答 カードリーダーの問題が1件、自主返納が2件あった。交付状況は84.3%と全国平均の75.9%を大きく上回っている。

問 来年初、紙の健康保険証が廃止されれば、無保険者が出る心配があり反対である。どう考えるか。

答 国はトラブルの早期解消に努め、国民の充分な理解を得ながら進める方針だ。移行に伴う弊害が発生しないよう、状況に応じ適切に対処していきたい。

食物アレルギー対策

問 食物アレルギー児童生徒は何人いるのか。教職員向けの研修やアナフィラキシー対応のエピペン訓練は行っているのか。

答 小学生24名、中学生19名となっている。エピペン保有者は3名となっており、訓練キットなどを活用し、教職員への情報共有と訓練を行っている。

問 「保育園と同様に除去食・代替食をして欲しい」との市民の声があるが、小中学校ではどう行っているのか。

答 本市では「学校給食におけるアレルギー対応のガイドライン」を作成している。最優先すべきは安全性であり、事故防止の観点から、原因食物の完全除去対応を基本としている。除去食でも対応できない場合、弁当対応をお願いしているケースもある。

請願 1 案件を審査

食料生産現場の声を国に

件名	請願者	付託 常任委員会	審査の結果	紹介議員
食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願	みちのく村山農業協同組合 代表理事組合長 三浦 康彦	産業厚生 常任委員会	採択	青野隆一 安井一義
概要				
<p>将来にわたり国民へ安定的に食料を供給していくため、基本法の見直しに際し、特に下記事項について、生産現場の声として、国に対し意見書の提出を願うものである。</p> <p>1. 認定農業者等の担い手はもとより、「多様な経営体」が果たす役割は極めて大きいため、農村振興のみならず、農業振興の観点からも「多様な経営体」を基本法にしっかりと位置付けること。</p> <p>2. 水田活用の直接支払交付金の見直しに止まらず、ゲタ対策等の経営所得安定対策や、個々の農家に対する新たな直接支払制度の導入を含めた施策全般にわたる見直しを行うこと。</p>				

令和5年請願第2号